

市

民

の

声

知覧町 西元

西垂水健司

これからも前向きに住みよ町へ

年末年始の大変忙しい時に、広報委員の方から頼み込まれて、私のよう

なものが書くことになり、断れなかったことを反省しながら前の方々の原稿を用意してもらい、市民の方々の声はみんな一緒なんだなあとつくづく思いました。

私たちの集落は県道知覧枕崎線沿いにあり比較的交通量の多い所ですが、中学生が自転車でする道路なのに歩道がなく、20年ぐらい前から集落を通して、町政懇談会や県議、町議の方々にもお願いしていました。が、なかなか要望することが通らなくて、おかし

い合わせてみたところ、歩道設置のお願いなどを認識しておらず、大変残念に思ったということ聞き、憤りを超えた怒りに近いものを感じました。

子どもたちは、白線と側溝の間が10センチ程の所なども通らなくてはならないような現状をどうして県道の補修工事などを行った県の担当者が認識していなかったのか、おかしな話だと思えます。これからは、何に対しても関係する方々が、自分のことのように思っ



顛娃町 郡

永山真知子 未来がどうあるべきかを考えて

南九州市の顛娃町に移り住み早5年が過ぎました。こちらに来てから農

家の若い後継者が多いことや、市民の方々が集落の方々のまとまりの強さに驚きました。とても素晴らしいことではあります。すが、そのまとまり、団結力の強さゆえに、市外から移り住む人たちが輪の中に入っていけない状態をよく見かけると同時に、私自身も感じています。後継者の多い市だからこそ、移り住む人たちにやさしい受け入れ体制やサポートの強化をしてほしいです。住む家がな



かながなく、住宅の整備も大事であると思えます。また、農業の振興を行っていくことも必要ではないでしょうか。本市の代表的なものや、農産物のブランド化をしていく努力が必要であると思えます。そうすることで、南九州市が活気づけば、市外・県外へのピーアールにもつながって行くのではないのでしょうか。将来子どもたちが、本市に生まれ育って良かったと思える市であるためにも、未来を考えたまちづくりを期待します。

請願・陳情の提出締切

2月9日まで
議会事務局へ

“議会を傍聴してみませんか”

次の議会は**2月22日**開会予定

手続き簡単!! 本館2階で住所・氏名などを書くだけ

編集後記

時が経つのは早いもので、合併して3年が過ぎ、市議会だよりも第13号となりました。

合併前の人口は4万2092人で、昨年末の人口4万112人となり、1980人の減少となっています。

人口減少と少子高齢化に、どのように取り組むのか、本市の大きな課題であると考えます。

3月の九州新幹線全線開業を機に、訪れたいまち・住みたいまちとしてさらに本市の魅力を全国に発信し、人口の増加につなげていきたいものです。

(加治佐)

▼広報編集委員会

- 委員長 峯苦 勝範
- 副委員長 山下つきみ
- 委員 満留 秀昭
- 委員 大藪 秀己
- 加治佐民生
- 菊永 忠行